

(様式6-3)

研修等 報告書

令和6年2月22日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	
		議員名	厚地弘行
参加者氏名	厚地弘行		
講演会等研修名	重要政策集中講座 黒瀬雄大		
研修事項	① 公共施設マネジメント政策 ②DXデジタル化政策		
日 時	令和6年2月 6日(火)～ 6年2月 7日(水)		
場 所	リファレンス国際ビル貸会議室		
研修の概要 及び所見 (別紙でも可)	<ul style="list-style-type: none"><li>・総務省資料からも各都市の施設老朽化状況がわかる。豊中市の場合、24年間で公共施設面積を80%にする事を決めた。</li><li>・学校統廃校は必要。通学路確保と地域の希薄化を防ぐ必要ある。</li><li>・AIによる水道管劣化診断が可能となってきた。(朝来市)</li><li>・コンパクトシティ市街化区域を逆に調整区域にすることもありえる</li><li>・公民連携事業の難しさは誰がやるかである、人材がいるかどうか。</li><li>・防災施設、施設統合を目的とすれば交付税処置がある。5割～7割</li><li>・三田帰宅後に担当者職員に聞くと貸借対照表等が令和2年以降作成されていなかったの、これから作成する事を確認した。</li><li>・国は令和7年まで全国DX化を進める。そのための予算措置がある。DX補佐官には給与の7割。(三田市は副市長がCIO、補佐官は高村弘史氏である事を確認)</li><li>・補佐官がいる間にDX推進リーダーを育てることが大切。</li><li>・国は全国のシステム標準化によってコストが3割減と説明したが、実際はコストアップも予想される。簡単に認めないこと。</li></ul>		
添付資料	知っておきたい公共施設マネジメント、DXデジタル戦略の抜粋パンフレット		

会派支給の場合会派名・代表者名を、個人支給の場合会派名[無会派は記入不要]・議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。